

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は、静岡県三島市で生まれ、生後3か月で東京都日野市に移り住み、幼少期を過ごしました。当時、実家の周りは田んぼや畑が多く、カエルの鳴き声で寝つけないことも普通にありました。小学校時代は、友達と小川に笹舟を流し、競争しながら下校したものでした。昔から魚釣りが好きで、多摩川や浅川でフナやコイ釣りをしたのを懐かしく思います。高校卒業後は、父親が建築士だったこともあり、建設業つながりで大学は土木工学科に進学しました。

就職してからは、ゼネコンで10年間、土木の施工管理を経験しました。施工規模は大小ありますが、道路、河川、上下水道、港湾、建築外構と多岐に渡る工事を経験させていただきました。当時は私も若く、白黒はっきりさせたい性格だったこともあり、仕事仲間や関係者とぶつかり合いながら、いかに効率よく短期間で工事を終わらせるかに仕事のやりがいを感じていました。そんな私に転機が訪れたのは、小規模河川の魚道工事を担当した時でした。魚道を設置するため、河川を仮設の水路で切りまわしたのですが、周辺の樹林伐採、草地や湿地を改変するなど、環境保全のための工事が、本末転倒の内容に矛盾を感じました。それ以来、工事等による開発行為に疑問を抱き始めるようになったのでした。

その後、縁あって現職につき、自然環境調査や環境影響評価の仕事を通じて15年以上がたちました。社内外の諸先輩方のご指導のおかげで技術士資格の取得もさせていただきました。

この原稿を書いている今、世界は新型ウィルスの影響で大変な状況です。今後、これまでの経験を活かし、社会のために何ができるのか模索し、常に謙虚な気持ちで日々精進していきたいと思います。

## 小林 功 (こばやし いさお)

●建設部門(建設環境)

勤務先

パシフィックコンサルタンツ株式会社



→次号は、泉水良之さん(建設部門)

私は旭川市で生まれ道内の大学を卒業後1999年(平成11年)千葉県にある鋼橋メーカーに就職しました。2003年(平成15年)から現在の建設コンサルタントに入社し、主に橋梁関係の設計を行っています。その後、2010年(平成22年)に技術士を取得しました。

鋼橋メーカーでは主に鋼橋上部構造(新橋及び耐震補強)に特化した設計を経験させていただきました。大規模な橋梁にも携わることができ、技術士取得への基礎を築くことができました。現在の会社に入社後は、鋼橋以外に下部構造、道路、河川等の設計を経験させていただきました。それまでの経験は非常に限られた分野であったため、多くの驚きを経験しながら(入社当初は道路横断面図でさえ見たことがなく面を食らっていました)、技術の幅を広げることができました。

現在の業務は新橋に携わる機会が減り、大部分は橋梁補修設計を行っています。そのため、以前に比べ多くの橋に出会う機会が増え、多くの経験ができたことで、各々の橋には多くの個性があることに気が付きました。そして個性を知ることによってその橋に対する想いが生まれ、今まで見えなかった(あるいは見てこなかった)劣化等が見えるように(あるいは見る努力をするように)なってきたと感じています。また、公共資産である橋は安全であることは当然ですが、環境に応じその要求が異なることから、利用者が抱く橋への想いも様々であると感じています。

今後は、橋や利用者に対する想いを感じながら自己研鑽に励み、長い間多くの人や物を安全に支えてくれている大切な橋に対し、長寿命化による恩返しを行い地域社会に貢献したいと思います。

## 高橋 宏司 (たかはし こうじ)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

株式会社アサヒ建設コンサルタント



→次号は、関藤博臣さん(農業)